

作成日：2006年7月1日

改訂日：2017年2月15日

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 EL-2001主剤

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用注入剤 等）

整理番号 KR-M016

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	区分外	呼吸器感作性	区分1
急性毒性 経口	区分外	生殖細胞変異原性	区分外
急性毒性 経皮	区分外	発がん性	区分外
急性毒性 吸入（ガス）	分類できない	生殖毒性	区分外
急性毒性 吸入（蒸気）	分類できない	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分外
急性毒性 吸入（粉じん、ミスト）	分類できない	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分2	吸引性呼吸器有害性	区分外
眼損傷/刺激性	区分2	水生環境有害性(急性)	区分1
皮膚感作性	区分外	水生環境有害性(長期間)	区分1

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない又は区分外。

GHSラベル要素：



注意喚起語：警告

危険有害性情報：

- ・ 皮膚刺激
- ・ 眼への刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ

- ・ 水性生物に非常に強い毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

## ＜安全対策＞

- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・ 取扱い後は汚染箇所を良く洗うこと。
- ・ 汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
- ・ (適切な処置を講じたとき以外は) 環境への放出を避けること。
- ・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
- ・ 漏出物を回収する。

## ＜救急処置＞

- ・ 皮膚に付着した場合には多量の水と石鹼で洗う。
- ・ 目に入った場合には水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し、容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。
- ・ 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受ける。
- ・ 目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

## ＜廃棄＞

- ・ 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	ビスフェノールA型エポキシ樹脂

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	70～80	—	第2種監視化学物質	25068-38-6

## 4. 応急措置

一般的な措置：	・ 気分が悪い時には、医師の診断／手当を受ける。
吸入した場合：	・ 呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合：	・ 服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗う。 ・ 多量の水と石鹼で洗う。 ・ 医師の診断／手当を受ける。
眼に入った場合：	・ 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。 ・ 医師の診断／手当を受ける。
飲み込んだ場合：	・ 口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。

- ・直ちに医師に連絡する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： ・火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。
- 火災時の特有の危険有害性： ・消火水が汚染を引き起こすことがある。
- 特定の消火方法： ・区域より非難させる。
- 消火を行う者の保護： ・防火服は限られた保護をするに過ぎない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置：

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材：

砂又は他の不燃性吸収剤を用いて集め、容器に入れた後に廃棄する。

清浄なシャベルを用いて、清浄な乾燥した容器に入れ、ゆるく覆いをして漏えい個所から移動する。

二次災害の防止策：

漏出物を回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策

取扱い者の暴露防止：粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避ける。

火災・爆発の防止：燃えるものがあるが、容易には発火しない。

注意事項：皮膚に触れないようにする。

安全取扱い注意事項：保護手袋を着用する。

保護眼鏡／顔面保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件：容器を密栓する。

涼しいところに置く。日光を避ける。

国／地方の規則に従って保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

保護具

手の保護具：保護手袋を使用すること。

目の保護具：保護眼鏡／顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具：保護衣を着用すること。

衛生対策

：取扱い後は汚染箇所を良く洗う。

：汚染された作業衣を作業場から出してはならない。

：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状： 液体。

色： 淡黄色。

臭い： 特有臭。

pH： データなし。

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲：

データなし。

融点： データなし。

沸点： データなし。

初留点： データなし。

引火点： 140°C

発火点： データなし。

爆発特性： データなし。

蒸気圧： データなし。

蒸気密度： データなし。

比重： 1.1

溶解性 水に不溶。

オクタノール／水分配係数：

データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：

粘度： 1000mPa・s

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管条件／取扱い条件において安定である。

混触危険物質 : 酸、塩基、酸化性物質、還元性物質

## 11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的に関係した症状

局所効果

皮膚腐食性／刺激性： 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷／刺激性： 眼への刺激。

呼吸器感作性／皮膚感作性： アレルギー性皮膚炎を引き起こす恐れ。

## 12. 環境影響情報

生態毒性：

水生毒性 : 水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性（成分データ）

: (ビスフェノール A 型エポキシ樹脂)甲殻類(オシロイソデ)EC50=1.7mg/L/48hr(CERI・NITE)

有害性評価書(暫定版),2006)

水溶解度 : (ビスフェノール A 型エポキシ樹脂)0.041mg/L(CERI・NITE 有害性評価書(暫定版),2006)

残留性・分解性 : (ビスフェノール A 型エポキシ樹脂)BOD による分解度 : 0%(既存化学物質安全点検データ)

生態蓄積性 : (ビスフェノール A 型エポキシ樹脂)BCF<=42 (Check & Review, Japan)

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : (適切な処置を講じた時以外は) 環境への放出を避ける。  
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : クラス 9

国連番号 : 3082

品名 (国連輸送品名) : 環境有害物質、液体,N.O.S

容器等級 : III

指針番号 : 171

海洋汚染防止法

有害液体物質(X 類) : ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

個品輸送 P

### 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 労働基準法 疾病化学物質 : ビスフェノール A 型エポキシ樹脂  
通達 感作性物質(基発第 182 号) : ビスフェノール A 型エポキシ樹脂  
通達 変異原性(既存化学物質) : ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

消防法 : 第四類 引火性液体第三石油類 危険等級 III

船舶安全法 : その他の有害性物質

化審法 : 第 2 種監視化学物質 : ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

### 16. その他の情報

参考資料

- 1) 製品安全データシートの作成指針 ((社) 日本化学工業協会)
- 2) 化学物質の危険・有害便覧 (中央労働災害防止協会編)
- 3) 労働安全衛生法MSDS 対象物質全データ (改訂版) (化学工業日報社)
- 4) 化学物質管理促進法 P R T R ・MSDS 対象物質全データ (化学工業日報社)
- 5) 原料メーカーの SDS

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

## EL-2001主剤

- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。